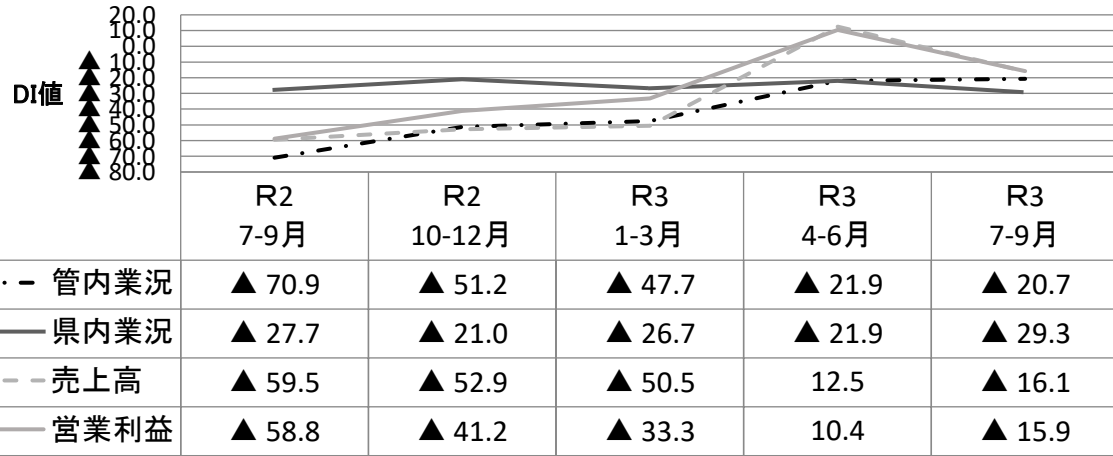


# 三島管内 景況調査

令和3年度第2四半期  
 (調査期間)  
 令和3年7月～9月

景気判断指数 DI 値の推移



## 業況判断 4期連続で回復 (前回・前年同時期比)

- ☑景況感DI値▲20.7 前回(4月～6月)▲21.9 前年同期比▲70.9
- ☑今後の見通し(10月～12月期)▲15.1 (4.2好転)
- ☑全業種で人材不足・採用難、仕入単価上昇、民間需要停滞を懸念

三島市内の景気判断を表す全業種の景況感DI値は▲20.7を示し、4期連続で回復傾向であるものの、長引く新型コロナウイルス感染症拡大に加え、調査期間中に「まん延防止等重点措置」「緊急事態宣言」が発令されたこともあり、回復の肌感覚なく、製造業を除き厳しい状況は続いている。  
 今後の業況感見通しDI値は▲15.1を示し、前回より4.2好転している。景気回復には、政府による経済対策を期待する声が多く寄せられた。  
 全業種の直面している経営上の問題点は、上位から人材不足・採用難、仕入単価の上昇、民間需要停滞の順で、建設業ではウッドショックの影響が引き続き危惧されている。

\*この調査は、三島地区の中小企業の景況を定期的に把握し、各事業所の経営の参考にしていただくためのものです。下表にある項目について、「前年同期との比較」及び「今後3ヶ月の見通し」について調査し天気図で表しました。  
 (調査対象165事業所 回答88事業所(回収率 53.3%))

業種別の業況感DI値は次の通り 【(今期)(今後の見通し)】  
 総計(▲20.7)(▲15.1) 製造業(23.1)(±0) 建設業(▲9.5)(▲4.8)  
 卸売・小売業(▲41.2)(▲37.5) 飲食・旅館業(▲83.3)(▲33.3) サービス業(▲4.8)(▲4.8)

\*DI値(景気判断指数)とは、(増加・好転等の回答割合)－(減少・悪化等の回答割合)

景況 天気図 の見方					
	好調・好転・増加	やや 好調・好転・増加	横ばい	やや 不振・悪化・減少	不振・悪化・減少

- 増加50%以上、DI値20%以上
- DI値10%～20%
- 不変50%以上、DI値±10%
- DI値 -10%～-20%
- 減少50%以上、DI値-20%以上

項目 業種	売上高		受注 (製造・建設のみ)		客数 (得意先数)		資金繰り		在庫 (製造・卸小売のみ)		従業員数		パートの採用		営業利益		原材料 (仕入単価)		業況		設備投資	
	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	今期実施	今後 3ヵ月 実施予定
全体			/	/					/	/											31.8%	37.9%
製造業																					30.8%	46.2%
建設業									/	/											33.3%	42.9%
小売・卸売業			/	/																	35.3%	35.3%
飲食・旅館業			/	/					/	/											33.3%	50.0%
サービス業			/	/					/	/											31.8%	28.6%